

医療支援第3陣

4月18日出発～23日帰広予定

小児科医長の東先生、医局事務課長の権藤さんと、再び丸岡看護師が現地に向かいます！

森下先生の着任で小児科が2人体制になり、東先生も安心して支援活動に参加することが可能になりました。

現地では、インフルエンザなどの感染症の治療だけでなく、両親や親戚を震災で亡くし、心のケアを必要とする子ども達がたくさん避難生活をおくっていることでしょう。丸岡看護師さんは、第1陣の支援でも坂病院の外来でがんばってくれましたが、再び支援に行きたいとの希望がだされ、2度目の支援にいかれることになりました。権藤さんと3人のチームでがんばってきてください。

◆第2陣メールレポート

信野 事務次長

9:03 「おはようございます。今朝9時前に全日本民医連1階ロビーで出発敷きを行い、今からバスで宮城に向かいます。今朝の便で22名が向かい、現地では150名ぐらいが現在支援しているとのこと。途中のサービスエリアでは放射線を測りながら出入りするが、今のところ1マイクロシーベルトと落ち着いているそうです。」

12:33 「ちょうど今、東北道で福島県入りました。白河付近です。もう少し北に上がると原発から50キロ付近に最接近となります。11時に2回目の休憩をしてサービスエリアで昼食しました。自衛隊空挺部隊車両10台と広島消防局30人ぐらいがいました」

15:20 「無事坂総合病院に到着しました。今からオリエンテーションです」

18:47 「坂総合病院に着いて、最初のオリエンテーションを受けました。食事は3食あり持ち込みは不要でした。シャワーは一人15分の予約制で毎日難しいかも。毎日夜中までに翌日の任務表が出るので、そこで自分の仕事が決まります。毎日17時半から支援者の会議があります。毎朝8時半から現地職員と支援者の全体ミーティングが行われます。医療支援から生活支援にシフトしていているようです。夕方まで時間があつたので、タクシーで被害の大きかった海岸の集落を回りました。まるごと流されて瓦礫の山になっている場所もあり船が建物の上に乗っかっている場所もありました。

◆ 支援物資！

本日、今までの支援物資を仕分けして郵送できるように梱包作業を行います。

◆引き続き義捐金を集めましょう！

4月4日、全日本民医連に、334197円、日本医療福祉生協連に、334196円送金しました。これで、

合計147万円を現地に送金したことになります。引き続き、カンパの訴えをよろしくお願ひします。